

まらまら

今、ひとりひとりが...



主な内容

- ・特集 きらきら生しよう！男(ひと)と女(ひと)
- ・「おとこの自炊教室」訪問記
- ・きらきらフラワーアレンジ講座

上野市女性情報紙

第5号

2003年

きらきら生きよう！男(ひと)と女(ひと)

“あなたの中の小さなきらきを育ててみませんか？”

一人ひとは、きらきの芽をもっているはずです。
今回は、元気な人たちに自分らしく生きるためのヒントをうかがいました。

★あなたの夢はどんなことですか？

- 仕事、家庭、趣味をうまくこなす (30代女)
- パン屋、またはパン教室を開きたい (30代女)
- インテリア家具を作りたい、木工技術の習得 (30代男)
- 小物作りが好きなので、店や教室を開き、人々の交流の場として提供したい (40代女)
- 音楽が好き、演奏活動等で地域に役立ちたい (40代女)
- バリアフリー、ユニバーサルデザイン*のまちづくり (50代男)
- 夢の無い社会、政治・教育を正していくのが夢 (50代男)

★あなたの夢を、パートナーは理解している？

- 仕事との両立は困難 (30代男)
- 無視されている (50代男)
- 理解している (40代女、50代男)

★あなたの関心事は何ですか？

- パン・お菓子作り・ガーデニング (30代女)
- 健康 (30代女)
- 仕事が順調にはかどること (30代男)
- 教育と政治 (税金の使い道！) (40代女)
- ユニバーサルデザイン (50代男)
- 若さを保つこと (50代男)



ユニバーサルデザイン(UD)

「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢、障害の有無に関わらず、最初から、できるだけ多くの人が利用可能なデザインをすることです。

身近なUD

- ・シャンプー容器のギザギザ
- ・多機能トイレ
- ・ノンステップバス 等

☆家庭内で男女共同参画していますか？

- 家事の分担（掃除・食事の後片付け）（30代女）
- していない（30代女）
- 夕食の準備、買物をしているが男女共同参画を意識したものではなく、妻と私の仕事の関係でたまたまそうになっている。（30代男）
- 特にしていない、家事は私の役割と考えている（40代女）
- 自然に担い合っているの、私が主婦役をする事は問題ない（40代女）
- 生活することそのものが男女共同参画です（50代男）
- 家事はケースバイケースで、ベターに対応しています（50代男）

☆あなたの夢はどんなことですか？

- 自分にできるボランティアや趣味を生かす（70代女）
- 元気で、人の世話にならない（60代女・80代女）
- 花いっぱい、緑多様、清き流れの地域づくり（60代男）
- 伊賀上野を「芭蕉生誕の地」として世界に発信する（60代女）
- 年齢にこだわらず、心を若く常に大きな夢を持ち続けたい（70代女）

☆あなたの関心事は何ですか？

- 地域社会福祉（高齢者、障害者、子育て支援等）（70代女）
- 夫の健康と孫の幸せ（80代男）
- 平和（60代女）
- 地域緑化、森林の再生と森林文化の復活（60代男）
- 北朝鮮、イラク戦争（60代女）

☆あなたの目標を教えてください。

- 健康で明るい生活（70代女）
- 楽しみながら年を重ねたい（80代女）
- ボランティア参加（60代女）
- 三徳の実践（慈悲、至誠、堪忍）（60代男）
- 人に親切でありたい（60代女）



☆家庭内で男女共同参画していますか？

- 相手の立場を理解し、協力して家庭生活を過ごす（70代女）
- 男らしさ、女らしさ…自分にできることを各々がやっている（60代女）
- 夫は風呂の水を入れるのと、自分の着替えは出すようになった（60代女）

☆若い人へのメッセージ

- 思いやりの心や感謝の気持ちを大切にする（70代女）
- 何でも話し合える家庭をつくる（60代女）
- 本当の人生の目標・目的を早く発見する（60代男）
- 言葉のキャッチボールから人とのつながりができる、あいさつから始めたい（60代女）
- 子育ての重要性（60代女）
- 年長者を尊敬する（40代女）
- 参観日や行事で親は静かに見てほしい（30代女）

世のなか暗い話が多いけど、そんな時代だからこそ小さくても自分なりの目標をもって生きていけたら素敵ですね。

アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



男女共同参画について

（寄せられた手紙）

私は、思春期を迎えると、海に憧れ商船大学を出て大手船会社に入社し、海上勤務に就いた。世界五大陸の主要都市も垣間見、幼いころからの夢をかなえた。子宝に恵れたが、ひとりで留守を守る妻の苦労を思い、30歳で造船重機メーカーに転職した。しかし、オイルショックを機に造船不況となり、造船の仕事から海外プラント建設に配転となった。再び、海外勤務が始まり、家族と離れて暮らすことを余儀なくされた。

イランーイラク戦争10年はほとんどイラクに滞在し、忍耐の明け暮れであった。

既に40歳代半途で定年後の生き方を家族と話し合っていたので57歳で退職。私は便利な都会生活よりも少年のころ遊んだ故郷を選び、妻は通い慣れた病院のある横浜に留まった。お互い不自由なことも有るが信頼しあい、互いに思いやる気持ちがそれを可能にした。家族は年3～4回やって来て田舎生活を楽しんでいる。

私はいま、晴耕雨読、陶芸（窯を庭に設置）、油絵、劇団にも参加、国際ボランティアに熱中、ホームステイも受け入れる。

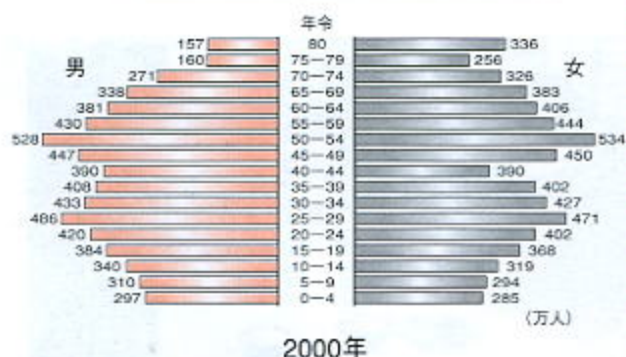
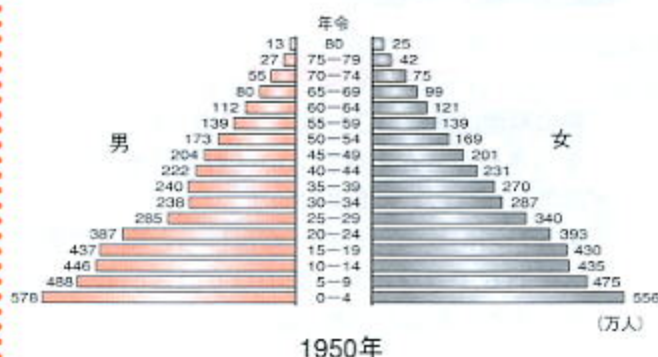
いまやパソコン時代30年来のドイツの友人、海外の駐在員、家族との交信も絶やさない。妻とは電話で健康を確認しあう。今、私は早期退職と田舎生活の選択により、心身の健康を取り戻し新たな希望と活力を与えられている。（60代男）

(寄せられた手紙)

私は数年前に会社を辞め、現在は自宅で仕事をしています。夫婦が共働きしているため、退職後は、買物や食事の準備など、一般の女性がする家事の多くを私が引き受けています。ただこれは、男女共同参画を特に意識したものではなく、双方の仕事の都合で、たまたまそうしているだけです。

主婦ならぬ「主夫」として、子育てにも積極的に関わりました。その時に強く感じたことなのですが、父性と母性は本質的に異なり、特に乳幼児期に母親が果たす役割は父親よりも大きいように思いました。退職当初、仕事で母親の帰りが遅くなる中、新しい仕事を軌道に乗せようと必死で働く日が続きました。私も大変でしたが、その辛さが子供にも伝わるようで、情緒が不安定になって夜泣きを繰り返すこともたびたびありました。

私たちが子供の頃は、まだ女性の社会進出が進んでおらず、専業主婦の人も多くいました。現代のキャリアウーマンたちから見れば、歯がゆい面もあると思いますが、子育てという面では良い環境であったと思います。その後時代は変わり、社会で活躍することを望んでいる女性たちも増えてきました。そんな女性たちには、十分な機会を与えるべきだと思いますが、子供たちがのびのびと育つよう、育児休暇や雇用形態の見直しなど、抜本的な取り組みが必要だと思っています。



上のグラフは、1950年と2000年に行われた国勢調査の結果です。年齢別の人口構成は、本来は富士山のような形になっているべきなのですが、現在はひょうたん型になっています。これは大変憂慮すべき事態です。私たちの子供が、これから数十年後に大変重い負担を強いられることになるからです。こういった現象は特に先進国で多く見られます。またフランスなどでは、シングルマザーの数が非常に多いと聞きます。男性に虐げられてきた女性たちが反旗を翻しているからなのか、あるいは男性そのものに魅力がなくなっているからなのか、理由はわかりませんが、女性の自立と何らかの関係があるように思えてなりません…。(30代男)

自分らしく生きる為の知恵

～こんな言葉を見つけました～

- ・「〇〇のせいだ」を禁句に!!

これは他人のせいにして何も変わりません

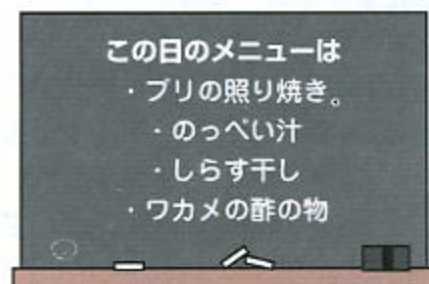
- ・「〇〇と比べる幸福」を追わない

それよりも、以前の自分と今の自分を比べてみよう

「おとこの自炊教室」 訪問記

おとこの自炊教室(主催:伊賀男女(みんな)できらめく委員会)を本紙記者が取材しました。

料理指導は主夫暦6年という野田政義さん、テーマは「今まで料理をした事のない人向けの簡単な料理」で、参加者は伊賀地域在住の15名でした。



この日のメニューは

- ・ブリの照り焼き。
- ・のっぺい汁
- ・しらす干し
- ・ワカメの酢の物



スーパーへ買い出しから始まり、道具の使い方、手順を説明していき調理へ。

野田さんのアドバイスに主婦業のわたしも思わず感動、納得の連続。味見をする皆さん

のわくわくした笑顔が印象的でした。

会食タイムは、自己紹介で大いに盛り上がる。普段から料理に興味がある人、自立を意識して参加した人、共働きで妻の苦労を理解されている人など立場はいろいろだけど料理を作ったことで、また皆さんの和が深まった様子でした。



野田さんからのアドバイス
(これから料理をはじめようと思う男性へ)

- ・材料費はポケットマネーで
- ・「かたづけ」までやる。

～取材を終えて～

男の料理は豪快、これは本当であった。

手ふきもふきんも関係ない!野菜はまず切る!
ざるの水が落ちてても関係ない!

男が台所に立ったとき、女はじっと黙って見守る。それができなければ男の自立は遠いものになってしまう。あなたの家では?

ドメスティックバイオレンス(配偶者や恋人からの暴力)相談機関一覧

ひとりで悩まずに、まずはお電話ください。相談の内容によっては、他の専門相談機関を紹介します。

相談窓口	電話番号	日	月	火	水	木	金	土
女性相談所 (配偶者暴力相談支援センター)	059-231 5600				8:30~17:15			
男女共同参画センター (フレンテ三重)	059-233 1133	10:00 15:30			10:00~15:30			
警察本部総合相談電話 (相談一般)	059-224 9110							
(ストーカー対策室)	059-222 0110				9:00~17:00			
上野警察署	0595-21 0110				9:00~17:00 緊急を要する場合は110番			
伊賀保健福祉部	0595-24 8061				8:30~17:15			
上野市社会福祉事務所 婦人相談(市役所)	0595-21 4111				8:30~17:00			
上野市男女共同参画課 女性相談(ふれあいプラザ)	0595-21 5866					第1週 13:00 ~16:00		

*年末年始は休み、祝日等の関係で相談を行っていない場合もあります

春にはたくさんの色鮮やかな花が出てきます。春らしさを演出したいアレンジメントには、思い切って色とりどりのパステルの花を組み合わせるのも良いでしょう。

①グラスとアルミワイヤー



①アルミワイヤーにはアクセントとして大きめのビーズを数個通しています。

ワイヤーはグラスの中と、外側にもあふれ出るように、自由に形を作ります。アルミワイヤーを使うことによって、アレンジしやすく、デザインもモダンになります。

②花をたくさん詰めすぎないように、花と花との間に空間をとったり、長さを変えたりして軽やかに仕上げます。

(完成作品は裏面)

②花を飾り付けます



ほんの少しの花でも、家にある小さなお皿やグラスを使ってちょっと工夫すると様々な飾り方ができます。身近なものからアレンジしてみてもいかがでしょうか...



フラワーデザイナー 福尾さん

★できごと★

2月9日、市内ホテルで教育講演会「いきいき未来いが2003」～輝きましよう女(ひと)と男(ひと)～を開催しました。

会場では、上野市女性ネットワーク会議参加団体の展示コーナーやお茶席コーナーが設けられ、お抹茶をいただきながら開演までのひと時を過ごしました。

オープニングは、上野市空手道協会による護身術の演武があり痴漢撃退法が披露されました。

教育講演会「ふるさと再発見」では、船見忠美さん(島ヶ原小学校長)による子どもたちの個性を活かす教育についての講演がありました。

引き続いて開かれた分科会「井戸端会議」では、3会場に分かれて、質問や意見交換がありました。

井戸端会議の内容は次のとおりでした。

- | | | | |
|--------|----------|-----|------------------------|
| 井戸端会議1 | 「教育トーク」 | 助言者 | 船見忠美さん(島ヶ原小学校長) |
| 井戸端会議2 | 「みんなで介護」 | 助言者 | 中田宣子さん(元日本赤十字社三重県支部参事) |
| 井戸端会議3 | 「子育て奮闘記」 | 助言者 | 子育て支援グループ |



素敵な人

— 独創的な作品をめざして —

伊賀の陶芸作家

谷本 由子さん



古い民家を改造したアトリエは、自作の花器や壺、皿、外国で集めたアンティークの家具、焼き物のオブジェなどが飾られ、素敵な雰囲気を感じています。

由子さんは、銅板画を学ぶためフランスに留学その体験を活かし、伝統的な伊賀焼きでなく、独自の技法と発想で

花器などを創作、10年程前から、各地で個展を開いています。

これからの抱負は、「夢は、歴史ある上野で“市場ギャラリー”を開きたい。アートと食材を楽しむ、要するにアートギャラリーの空間に昔ながらの市場を置くのです。食材は良質のたとえばお豆腐・味噌・漬物・ハチミツ・クッキーにパン等、それにおいしいカフェでくつろげる時間。昔の市場の形態で、現代アートを置いた空間を楽しむのです。大人の文化が育ってゆけば良いですね。空間は、時間をかけて出来てゆくもので、完成もなく常に少しずつ変化しながら魅力的な街になれば良い。古い不用建築物の利用にそんな事をやってみたいと思っています。食が人間を育てると思うので。」と語られました。



きらきら 伝言板

クッキング編

レンジで作る 簡単さくらもち

材 料【22個分】

- A 道明寺粉……………2カップ
 水(ぬるま湯)……………3カップ
 砂糖……………大2
 塩……………少々
 紅粉……………少々
 (水にとかす)

桜の葉の塩漬け
 水洗いして水気をふく
 こしあん……………200g位



作 り 方

- ①材料Aをレンジ用の容器に入れて木じゃくしでよく混ぜる。
 ②ふたをしてレンジで10分かけて一度取り出し、木じゃくしでかるく混ぜ、再びレンジで5分かける。
 ③でき上がった餅のあら熱を取り、丸く平たくのばし、あんを包み桜の葉をまく。



編集後記

今号の特集では、様々な年代の人の声を聞かせていただいた。その人なりの「目標」をもつことにより一日一日が明確になっている気がしました。そして、男の人の声も多く寄せられ紙面充実!! 女性情報紙ではあるけど、今後も皆さんの様々な声を寄せて頂ける事を心よりお待ちしております。

【きらきら編集員】

岡 久美子 竹山佐代子 藤田 量子 松永 啓子



フラワーアレンジ講座完成作品